



自民党筆頭副幹事長
神奈川県13選挙区
支部支部長

衆議院議員 **甘利 明**

国会レポート

総 覧

今回の改選人事で予算委員長に内定いたしました。正式には12日の衆議院本会議で指名され決定いたします。

衆議院には17の常任委員会があり、その数だけ委員長がありますが、中でも議院運営委員長と予算委員長だけは閣僚級委員長として別格扱いされています。

その中でも予算委員長は特別で、閣僚経験者の中から1名だけ選ばれます。過去に閣僚経験がなく就任したのは浜田幸一氏だけであり、問題発言を恐れて入閣を見送られ続けてきたために、最終的に予算委員長のポストが与えられました(それでもたちまち問題発言で辞任しましたが...)

地元もそうでしょうが、マスコミ関係者は私が入閣の有力候補者と見ていたため、各社から10分おきに入閣打診の有無の問合せがありました。しかし山崎派の入閣第一候補は大野功統氏でありましたし、武部勤氏が驚天動地の幹事長指名を受けた時点でそれは難しくなりました。

与謝野馨氏の政調会長就任の話は、前々日の午前中にはマスコミから私に伝わっておりまして、前日にはご機嫌で床屋に行っていたと記者団が語っていましたが、完全秘密主義の小泉総理は新幹事長のニュースが漏れるのを極度に嫌って、山崎拓氏にすら連絡を入れませんでした。

当日、朝9時05分に安倍晋三氏の待つ党本部幹事長室に小泉総理が入り、

「新しい幹事長がぜひ君に幹事長代理をやって欲しいと言っているの、やってくれないか」

「新しい幹事長って、誰ですか？」

「武部さんだ」

「！！.....」

というやり取りが2人の間でありました。その日の

夜、あるパーティーで一緒になった安倍さんに、「なぜ幹事長代理を受けたんですか？」

と尋ねたところ、

「何せ時間がない中でとっさに言われたもんですから、断りきれなかったんです」

とのことでした。

額賀福志郎氏の政調会長を外し、青木参院議員会長の幹事長就任要請にも耳を貸さなかった小泉総理は組閣後、さすがに気が引けたのか当の額賀氏に予算委員長就任を打診したようですが、額賀氏はこれを固辞し「甘利さんが適任だと思う」と私を推薦してくれたそうです。

山崎会長、亀井前農相を始め山崎派の同志は懸命に私を売り込んでくれましたが、同時に額賀氏や中川国対委員長、そして安倍前幹事長等々、派閥を越えた多くの方々が私を心配し、強力な後押しをしてくれました。友情に心から感謝したいと思います。

私自身、与えられた職務の中で全力を尽くすことは言うまでもありません。

今週の出来事 (あっと驚く...)

私が務めていた筆頭副幹事長職というのは、大臣以外の人事を担当します。適材適所で評価される人事をするのはなかなか難しいのですが、3期務めて次は入閣を目指すということで、私の後任を誰にするか山崎会長と話あった際、武部氏が適任ではないか、という結論になりました。そうしたら幹事長になっちゃいました。

そういえば安倍氏も森会長から「副幹事長として汗をかけ」と言われたら幹事長になりましたし、これからは派閥の会長から副幹事長指名を受けると幹事長になれるかもしれませんね。

